

登録コード	TOH03900	開講年度	2026				
授業科目	博物館経営論(16T以降)				担当教員		
英文授業名					副担当		
単位数	2	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				⇔	【授業の達成目標】	
	2 5Tカリ, 2 3Tカリ						
	【22T～】様々な課題を見つけ取り組む力が身についている。				⇔	博物館の経営に関する問題点を理解し、解決のための複数の方法を見出す。	
	2 6Tカリ						
	【26T～】共通教育による幅広い教養と、工学の専門分野における基礎学力が身についている。				⇔	博物館の経営に関する問題点を理解し、解決のための複数の方法を見出す。	
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、芸術文化、多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	現在の博物館の問題点を具体的に抽出することによって、それらをミュージアムマネジメントという視点に立って、どのように解決すべきか、また日本のミュージアムはどのように解決してきたのかについて触れる。担当教員が学芸員としての実務経験を活かして授業を進める。						
(5)授業計画	第1回 博物館の経営 第2回 博物館の使命と事業計画 第3回 博物館職員と組織 第4回 博物館の施設と設備 第5回 博物館とリスクマネジメント 第6回 博物館の資料管理と調査研究 第7回 博物館の展示 第8回 博物館の教育普及 第9回 博物館と多様な主体の連携 第10回 地域社会と博物館 第11回 様々な博物館 第12回 長野市立博物館の見学 第13回 長野市立博物館の見学 第14回 グループ発表と議論 第15回 グループ発表と議論（授業アンケート）						
(6)成績評価の方法	授業への参加状況（50％）とレポート（50％）による。						
(7)成績評価の基準	試験について 授業で示した基本用語・事例を理解していれば「水準にある」。重要語句・重要事例に対する理解が進んでいれば「やや上にある」。授業内容をしっかり理解し、自身の見解も示せれば「かなり上にある」。授業内容を完全に把握し、さらに主体的な学習と思考が加えられていれば「卓越している」。						
(8)事前事後学習の内容	授業内容・配布資料の復習に努めること。						
(9)履修上の注意	講義の一部は長野市立博物館で実施する予定。詳しくは最初の授業で説明する。						
(10)質問,相談への対応	メールで対応します。 suyama_toru@shinshu-u.ac.jp						
(11)その他							
【教科書】	適宜プリントを配布する。						
【参考書】	日本ミュージアム・マネージメント学会創立30周年記念誌編集委員会編『ミュージアム・マネージメント学の創成と博物館学へのアプローチ』東京堂出版、2025年 金山喜昭編『博物館とコレクション管理 増補改訂版: ポスト・コロナ時代の資料の保管と活用』雄山閣、2023年 玉村雅敏編『地域を変えるミュージアム——未来を育む場のデザイン』英治出版、2013年 そのほか、授業の中で紹介する。						